

マツダ財団が 2017 年度の事業計画を決定

公益財団法人マツダ財団(以下、マツダ財団)は、2017 年度の事業計画を発表しました。今年度も引き続き、科学技術振興と青少年健全育成の 2 つの領域について、研究助成と事業助成を中心に、さまざまな活動を行います。

マツダ財団理事長 金井誠太は、「科学技術振興と青少年健全育成という 2 つの目的のもとで、常に時代を先取りした事業を志していきたい」、「存在感のある財団を目指して、さらなる社会貢献に努めていきたい」と述べました。

なお、2017 年度の事業費は 6,546 万円とします。事業計画は次のとおりです。

科学技術振興関係

1. 研究助成

<マツダ研究助成>

2017 年度も機械、電子・情報、材料の 3 分野を対象に、「若手研究者」、「萌芽的研究」、「循環・省資源への寄与」を優先して助成します。

(助成金総額 3,100 万円、31 件)

<マツダ研究助成奨励賞>

マツダ研究助成対象の中から特に優れた研究を選び、1 件 50 万円の副賞(追加助成金)を授与します。

(助成金総額 200 万円、4 件)

2. 事業助成

中国地方で開催される小中高の生徒を対象とした「科学体験」に関する事業・研究会等を支援します。

(助成金総額 200 万円、10~15 件程度)

3. 科学わくわくプロジェクト

科学にわくわくする子どもの心を育てるための「科学わくわくプロジェクト」(わくプロ)事業を実施します。事業内容は、中・高校生を対象に理科の真の面白さを伝える出前講義を実施する「サイエンスレクチャー」、中学生を対象に広島大学等の最先端の設備を活用したハイレベルな演習講座を行う「ジュニア科学塾」など、多面的な構成となっています。

(負担金総額 100 万円)

青少年健全育成関係

1. 研究助成

2017 年度も、青少年の健全育成に寄与する実践的な研究を対象に、助成を行います。

(助成金総額 400 万円、5～6 件)

2. 市民活動支援

2017 年度は、広島・山口両県から寄せられた、過去 2 番目に多い 110 件の応募の中から、全 32 件、総額 800 万円の支援を決定しました。地域連帯やボランティア育成などに取り組む、意欲あふれる市民活動を支援します。

(添付資料「マツダ財団 第 33 回市民活動支援一覧 - 青少年健全育成 -」参照)

3. 感動塾・みちくさ

公益財団法人広島市文化財団と共催の「感動塾・みちくさ」は、児童・指導者・ボランティアの創意工夫をはぐくむ事業を 3 会場で開催します。なお、発足 20 周年にあたる本年は、記念事業の実施を予定しており、負担金総額は前年度比 50 万円増としています。

(負担金総額 180 万円)

4. スタートラインプロジェクト

NPO 法人ピピオ子どもセンターとの連携で、被虐待児等の自立を支援する「スタートラインプロジェクト」を実施します。子どもたちの成長やスタッフの能力開発を支援するプログラム等に取り組みます。

(負担金総額 100 万円)

5. 若者×ツナグバ(新規事業)

2017 年度から新たに、若者が希望を獲得するための活動支援を、市民活動団体等との緩やかなネットワーク型の連携により開始します。

若者一人ひとりが、社会情勢を正しく認識したうえで、多様な考え方から自分が納得のできる生き方を見つけ、その潜在能力を高め、選択肢を増やし、希望につなげていくことを目的とし、「対話」「表現活動」「居場所づくり」等の活動を支援します。

初年度は、以下の 3 プログラムを実施します。

・「ワカモノ×コドモ自然学校プロジェクト」主担当：NPO 法人ほしはら山のがっこう(広島県三次市)

・「Folks Tea Booth 自分の手で居場所をつくらう！」主担当：NPO 法人三次おやこ劇場子育てフリースペース KADOYA(広島県三次市)

・「青少年の居場所づくり」主担当：府中町地域活動青年団体「志楽蝶」(広島県安芸郡)

(負担金総額 150 万円)

6. 講演会の開催

青少年健全育成の啓発を目的とする恒例のマツダ財団講演会を、広島市内で開催する予定です。

7. 大学寄付講義

広島修道大学で単位互換「キャリア形成特殊講義(ボランティア活動)」を実施します。

マツダ財団は、科学技術の振興と青少年健全育成のための助成などを行うことにより、世界の人々が共に繁栄を享受し、心豊かに生きることのできる社会づくりに寄与することを目的として、1984年10月に発足しました。これまでの助成実績は、今回を含め合計2,068件、16億3,620万円です。

今後一層社会のお役に立てるよう、マツダ財団はこれからも取り組んでまいります。

以上

<添付>マツダ財団 第33回市民活動支援一覧 -青少年健全育成-

マツダ財団ホームページ: <http://mzaidan.mazda.co.jp/>

活動名	団体名 (団体名は応募時)	地域	金額 (万円)
ここまで出来たよ「くるりん村」!!	ふるさと宮園ピオトープの会	広島県 廿日市市	12
河川敷の整備とサマースクール	江の川流域里川エコネット	広島県 三次市	35
ワクワク森林資源再生プロジェクト。	特定非営利活動法人 やまおこしの会	広島県 山県郡	35
子どもたちへの伝統芸能の継承活動	神村学区郷土芸能保存会	広島県 福山市	25
永田川流域(森・里・川・海)の環境保全・整備プロジェクト2017	永田川カエル倶楽部	広島県 江田島市	10
ぼくたちの道しるべ～違っていてもいいんだよ～ 自閉症スペクトラムの子どもの得意を生かす 子育て【家庭療育を進めるプロジェクト】	発達障害親の会 *PEACCH*	広島市	30
青少年の非行・再非行防止による健全育成活動	特定非営利活動法人 食べて語ろう会	広島市	35
「地域全体で子育て・親育ち応援!!」 ～地元を愛し、お互いに元気になろう～	府中町家庭教育支援チーム「くすのき」	広島県 安芸郡	40
棚田開墾モリモリツアー(日帰りお楽しみ編)	棚田開墾モリモリ倶楽部	広島県 安芸高田市	25
美鈴恵みの森づくりボランティア	美鈴恵みの森づくりボランティア	広島市	17
みんなで創り広げる「オルゴールシアター広島・ 山口の民話」プロジェクト	多世代交流支援オルゴールシアター実行 委員会	広島県 東広島市	40
次世代リーダー育成「将来の夢を描くドリームマ ップ」を作ろう! in HIROSHIMA	一般社団法人ひろしまドリームマップ協会	広島市	25
原南生き物ふれあい活動	原南学区青少年健全育成連絡協議会	広島市	10
ホテルと花と砂留と	堂々川ホテル同好会	広島県 福山市	35
教えて! 赤ちゃん先生 ～わたしもあなたも大事な命～	NPO 法人ママの働き方応援隊 広島東校	広島県 安芸郡	25
若者と高齢者が共生する街づくり活動	鞆の浦の共生を実行する会	広島県 福山市	20
しごとしつとこU18	NPO 子どものひろばヤッチャル	広島県 東広島市	21
地域の誰もが集える場～ひねもすようこそ～	ひねもすようこそ	広島市	20

活動名	団体名 (団体名は応募時)	地域	金額 (万円)
療育を通して地域の障害児福祉を耕していく一つの試み(重症心身障害児を対象とした宿泊型の動作法訓練会の実施)	福山動作法訓練会	広島県 福山市	20
江田島を基点としたアートと哲学による青少年育成	ELCAP(エルカップ: Etajima × Local × Culture × Art × Philosophy)	広島県 福山市	35
『親子で体験! 五感で実感! 大きな発見』宮島の自然と環境を楽しもう! & 大学生ボランティア育成事業	みやじま未来ミーティング	広島県 廿日市市	25
絵本と紙芝居の地域文庫	絵本と紙芝居の地域文庫	広島市	25
広島県居住の外国人に対する日本語学習機会の提供と異文化理解を深める交流	日本語教室ピース	広島県 東広島市	10
広島と石巻の被災地を結ぶ学生ボランティア交流会(災害の教訓を伝承する活動を通して)	高校生災害復興支援ボランティア派遣隊	広島市	25
出前絵本たねまき広場	絵本たねまき塾	広島市	20
子ども時代をもっと楽しむ体験づくり	岩国市立通津小学校おやじの会	山口県 岩国市	15
東滝の謎に迫る! ～わが町に「ため池」はあるのか?～	滝びとの会	山口県 山口市	25
下三原上神楽舞伝承子どもプロジェクト	下三原上神楽舞伝承活動実行委員会	山口県 萩市	25
「にっぽんのこころ」を育む宿泊型青少年開発事業	公益社団法人防府青年会議所	山口県 防府市	25
板三夏祭り&板三もちつき大会&子供会と敬老会のコラボ	板持3区自治会	山口県 長門市	15
創作神楽による青少年健全育成	創作・風鎮神楽会	山口県 防府市	50
神楽ふれあい教室	NPO 法人まなびデザインラボ	山口県 周南市	25
合 計	32 件	800 万円	
		広島県	25 件 620 万円
		山口県	7 件 180 万円